４．ＣＴ検査

当院では、医療機器整備の一環として、最新型全身用ＣＴ装置 GE ヘルスケア製 Revolution EVO を設置し、平成 29 年 5 月より新病院の開院と同時に稼働しております。

この装置は、64 列スライスＣＴで、従来の装置と比べ、短時間での撮影及び高精細な画像を得ることができるため、 診断能の向上に繋がっています。

＜主な検査＞

・通常のＣＴ検査（造影剤を使用しない）
・大腸ＣＴ検査（大腸に特化した検査）
・造影剤を使用した「がん検査」や急性腹症等の検査
・頭部や大動脈、下肢の血管造影検査
・心臓ＣＴ検査（心臓を栄養する血管を撮影）

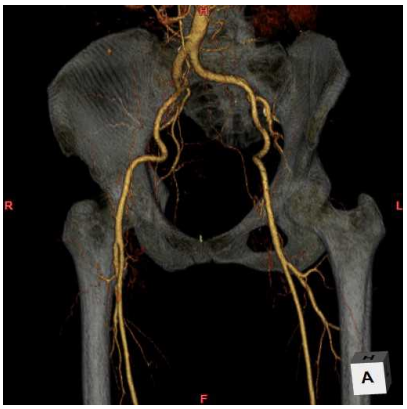
※　詳細については、「4-1 各検査の流れ」、「4-2 造影検査を受けられる方へ」、「4-3 大腸ＣＴ検査について」及び「4-4 心臓ＣＴ検査について」をご確認ください。

＜主な画像＞

一回の撮影で同時に複数の輪切り像が得られる最新型ボリュームＣＴ装置であり、得られた輪切り画像から、次のような精密な立体像を作ることが可能です。

頚の血管（動脈瘤）

手首（骨折）



骨盤の血管（正常）

＜当院ＣＴ装置の特徴＞

・従来のＣＴに比べ２倍の空間分解能を実現
・全身撮影の息止め時間が 10 秒以内
・従来のＣＴに比べ被ばく線量を最大で 82 %低減
・骨や体内金属からの画像劣化を大幅低減
・心臓ＣＴ検査に特化したシステムを搭載

＜医療ひばく＞

放射線を使用する撮影のため、医療被ばくがありますが、当院では被ばくの低減に努めており、健康に影響がある線量ではありません。ただし、妊娠中又は妊娠の可能性のある方は申し出てください。